

経営デザインシート（ウォーターシステム事業）

株式会社テクノシステム

事業概要

- 海水淡水化装置や淡水浄化装置の開発および販売事業（地域の事情（水質・水環境）に適した装置開発と装置販売）
- 国内と比較して水環境・水事情の恵まれないアジア諸国等の海外に対するアプローチ・導入が高いという事業の特徴がある

経営方針との関係

- 循環型社会実現における安心安全な水の提供を担う
- 海外での需要が高く、コア各事業とのシナジー効果を有する
- 豊かな生活につながる事業

事業概要

- 海水淡水化装置、淡水浄化装置の開発、販売事業
- 再生可能エネルギー事業において培われたクリーンエネルギーを組み合わせた淡水化装置を新興国非電化地域に輸出、普及（新興国非電化地域への売上量と事業比率の向上を図る）
- 地域コミュニティに対する高ライフラインの提供

経営方針との関係

- 循環型社会実現における安心安全な水の提供を担う持続的成長社会の実現に寄与する事業
- 再生可能エネルギー事業に次ぐ長期安定事業として展開

資源

ビジネスモデル

価値

資源

＜これから（2025年を目処）＞
ビジネスモデル

価値

主要な資源

内部資源

- 国内公的機関に採用された実績に基づく信頼
- 淡水化事業の市場
- 顧客との長期取引関係

知財 特許に裏付けされた技術

- CO2をゼロとする淡水化装置
- ロータリーピストンポンプ

収益の仕組み

- 水環境・水事情（*）に応じた装置の販売による利益の確保。
* 海に囲まれるが淡水が無い地域には海水淡水化、水質の悪い地域には淡水浄化の各装置を開発・提供。
- 高付加価値による装置ユニットあたりの高収益性を確保。
- 信頼できるOEM先の確保により、ファブレス体制によるコスト削減。

知財の果たしてきた役割

- 他者との差別化
- RO膜のメンテフリー期間の長期化によるコスト削減

提供してきた価値

水環境・水事情について安心出来ない地域に対する安心安全な水の提供。

災害時における機動的な水環境の提供。（熊本震災での実績ほか、災害対応に向けた仕組みの提供）

提供先から得てきたもの

- 地域コミュニティからの信頼
- 導入実績や評判に基づく次の事業機会への礎。

事業課題（弱み）

- 海外展開を図る上での人材不足

主要な資源

内部資源

- 国内公的機関に採用された実績に伴う信頼
- 海外地域を含む地域毎の事業パートナー

知財 特許に裏付けされた技術

- CO2をゼロとする淡水化装置
- ロータリーピストンポンプ
- ミネラル化のための大学との共同研究に基づく技術

外部調達資源（誰から）

- ミネラル化のための海外大学との共同研究実施の出来る強い関係性
- 共同研究に基づく研究者ネットワーク

収益の仕組み

- 高付加価値製品販売による高収益性の確保。
⇒差別化された製品で高付加価値を提供し、装置ユニットあたりの高収益性を享受。
- ファブレスメーカーとの合理化策推進による利益確保。
- “コンパクト”なクリーンエネルギー発電装置を統合した淡水化装置。
⇒大企業の提供する大型設備・システムとの差別化を実現。製品の高付加価値（コンパクト性・設置箇所の多様性・装置稼働の安定性、など他者との差別化）を図った製品販売。

提供する価値

海外中心：
・安心安全な水の提供

国内中心：
・循環型社会構想における安全な水の供給
・地域コミュニティに雇用創出
・船舶等の水問題の解決
・地域コミュニティへ高ライフラインへの貢献

提供先から得るもの

- 地域からの信頼
- 事業展開における戦力

これまでの外部環境

- +) 人口増加による水不足懸念
-) 国内での水に関する意識が依然として低い

水不足にさらされている発展途上国が市場（当社のポジション） 大手の大規模施設・システムとの差別化（中小規模の施設・システムを武器にした競合関係の少なく、顧客導入の動機づけが購入検討・実施に比較的結びやすい製品ポジション

「これから」の姿への移行のための戦略

これからの外部環境

- +) 人口増加による水不足が更に深刻化
-) 水をめぐる各国政策の変化
- アジアからアフリカへ市場が拡大

移行のための課題

- 需要のある発展途上国における戦略パートナーが必要

必要な資源

- グローバル人材
- 海外ネットワーク
- 発展途上国へ進出する戦略パートナーシップを組める人材

解決策

- 需要がある発展途上国における信頼できるローカルパートナーとの戦略提携
→当社経営陣の経歴と幅広い人脈（大手商社における経験と国内外の人脈）等を活用した戦略パートナーシップを組める人材やグローバル人材の確保。こうした人脈・人材に基づく戦略推進
- アフリカ等、非電化地域でのクリーンエネルギー推進普及を明確にしている英国等のプロジェクト推進部隊との連携
- 海外大学との共同研究に基づく技術力・ノウハウの向上

これまで

これから